

2008年度

# M6カリキュラム

臨床実習Ⅲ

医学総括

2008年4月～2009年12月

2003年入学第30回生用

筑波大学医学専門学群

## 病 院 実 習 時 の 基 本 的 態 度

- ・ 病院は社会そのもの！ 学生気分を捨て社会人1年生として挑むこと。
- ・ 身だしなみ、髪型なども社会人としてみられていることを自覚すること。
- ・ 朝夕の挨拶をきちんとすること。
- ・ 病気で悩んでいる患者さん、医師、看護師、スタッフの立場でも必ず考えること。



## 筑波大学医学群医学類の教育目標

筑波大学医学群医学類学生の卒業時点での到達目標は、基本的な臨床能力および基礎的な医学研究能力をそなえた医師である。

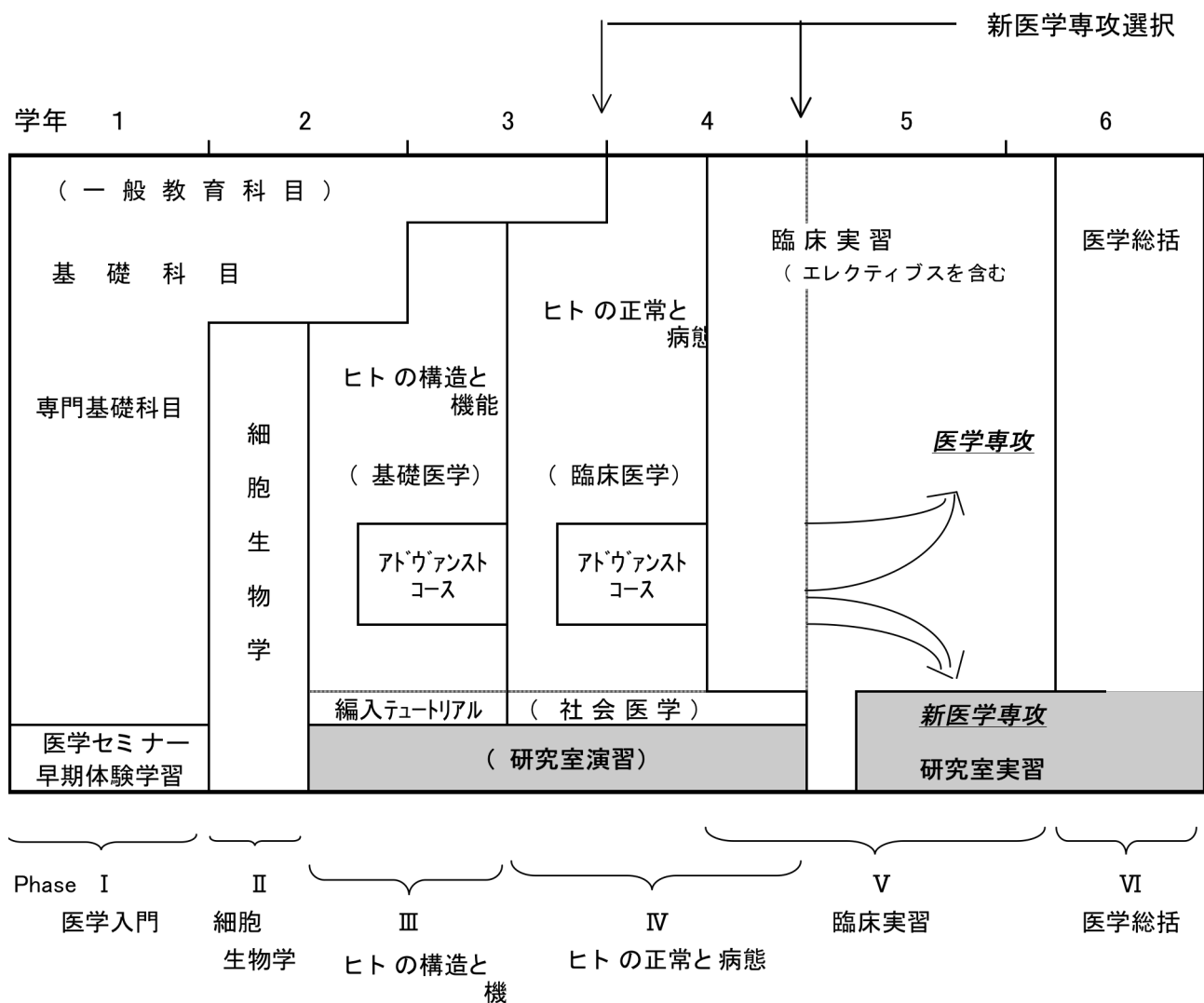
すべての卒業生はここから出発して、将来すぐれた医師（一般臨床医・専門医）、医学教育者、医学研究者あるいは保健・医療・福祉行政者として、それぞれの分野で医学を通して社会に奉仕し貢献することが期待される。

この教育目標に向って、学生は学習行動において次のことが要求される。

1. 人間個体はもちろん、地域・社会あるいは人類全体の医学上の問題を正しくとらえ、自ら解決するために必要な基本的知識と技能を身につける。
2. 患者に対する医師としての責任感、倫理感を養い、正しい態度、習慣を身につける。
3. 生涯にわたり学習・研究を続けるために、自己開発の能力、自己評価の習慣を身につける。
4. チーム活動において協調し、建設的に行動できる態度と習慣を身につける。

## 第 6 年次カリキュラムの概要

筑波大学医学専門学群における第6年次学生のカリキュラムは、6年一貫教育のPhase Vの一部とPhase VIに相当し、「臨床実習Ⅲ」と「医学総括」の科目から成り、臨床実習（又は研究室実習）、公衆衛生実習、総括講義、CPCと卒業試験が組み込まれている。



# 目 次

|                       |       |
|-----------------------|-------|
| 第6年次カリキュラムの概要         | ..... |
| オリエンテーション             | ..... |
| 1. 対 象                | ..... |
| 2. 内 容                | ..... |
| 3. 学内臨床実習             | ..... |
| 4. 研究室実習（基礎・臨床・社会医学）  | ..... |
| 5. Coordinator        | ..... |
| 臨 床 実 習 III           | ..... |
| 1. 臨床実習等              | ..... |
| 1・1 一般学習目標            | ..... |
| 1・2 実習内容              | ..... |
| 1・3 臨床実習の一般的注意        | ..... |
| 1・4 評 価               | ..... |
| 1・5 E l e c t i v e s | ..... |
| 1・15 大学附属病院実習         | ..... |
| 2. 公衆衛生実習             | ..... |
| 2・1 履修期間              | ..... |
| 2・2 一般学習目標            | ..... |
| 2・3 学習目標              | ..... |
| 2・4 実習グループ            | ..... |
| 2・5 実習施設              | ..... |
| 2・6 評 価               | ..... |
| 2・7 公衆衛生実習の注意事項       | ..... |
| 医 学 総 括               | ..... |
| 1. 総括講義               | ..... |
| 1・1 一般学習目標            | ..... |
| 1・2 学習方法              | ..... |
| 1・3 学習内容              | ..... |
| 1・4 評 価               | ..... |
| 2. 臨床病理検討会（C P C）     | ..... |
| 2・1 一般学習目標            | ..... |
| 2・2 学習方法              | ..... |
| 2・3 学習内容              | ..... |
| 2・4 評 価               | ..... |
| 卒 業 試 験               | ..... |
| 1. 卒業試験の目標            | ..... |

|               |  |
|---------------|--|
| 2. 出題範圍 ..... |  |
| 3. 試驗方法 ..... |  |
| 4. 試驗日程 ..... |  |

## オリエンテーション

1. このカリキュラムは、医学専門学群第6年次学生を対象とするものである。
2. 「臨床実習Ⅲ」は3つのコースを組み合わせた8グループに分かれる。
  - A) Electives 学外病院実習コース（海外実習を含む）
  - B) 筑波大学附属病院臨床実習コース（Electivesを含む）
  - C) 研究室実習コース（新医学専攻および医学専攻の希望者）

「医学総括」は総括講義及び臨床病理検討会（CPC）により成り立っている。
3. 学内臨床実習は筑波大学附属病院において行う。
4. 研究室実習は筑波大学基礎医学系、臨床医学系又は社会医学系において行う。
5. **Coordinator** の氏名は以下のとおりである。  
このカリキュラムについて不明の点があれば、各 **Coordinator** 又は教務担当(029) 853-3018、3019 に問い合わせること。

総 Coordinator ..... 朝 田 隆・金 子 道 夫  
 Electives ..... 朝 田 隆・金 子 道 夫  
 CPC ..... 野 口 雅 之・山 田 信 博

### 総括講義及び試験

|          |          |                 |
|----------|----------|-----------------|
| コース # 1  | 運動系臨床    | 落 合 直 之         |
| コース # 2  | 眼系臨床     | 大 鹿 哲 郎         |
| コース # 3  | 耳鼻咽喉系臨床  | 原 晃             |
| コース # 4  | 皮膚系臨床    | 大 塚 藤 男         |
| コース # 5  | 精神臨床     | 朝 田 隆           |
| コース # 6  | 呼吸系臨床    | 檜 澤 伸 之・鬼 塚 正 孝 |
| コース # 7  | 循環系臨床    | 青 沼 和 隆・榊 原 謙   |
| コース # 8  | 消化系臨床    | 兵 頭 一之介・大河内 信 弘 |
| コース # 9  | 血液系臨床    | 千 葉 滋           |
| コース # 10 | 自己免疫系臨床  | 住 田 孝 之         |
| コース # 11 | 神経系臨床    | 玉 岡 晃・松 村 明     |
| コース # 12 | 内分泌代謝系臨床 | 山 田 信 博・植 野 映   |
| コース # 13 | 腎・泌尿系臨床  | 山 縣 邦 弘・赤 座 英 之 |
| コース # 14 | 診断治療総論Ⅰ  | 南 学・川 上 康       |
| コース # 15 | 診断治療総論Ⅱ  | 田 中 誠・水 谷 太 郎   |
| コース # 16 | 小児臨床     | 須 磨 崎 亮・金 子 道 夫 |
| コース # 17 | 婦人・周産期臨床 | 吉 川 裕 之・濱 田 洋 実 |
| コース # 18 | 人間集団医学   | 高 橋 秀 人・森 田 展 彰 |
| コース # 19 | 感染症      | 人 見 重 美         |
| コース # 20 | 医療総論     | 朝 田 隆・金 子 道 夫   |

# 臨床実習Ⅲ

## 1. 臨床実習等

### 1 一般学習目標（G I O）

（技 能）

- 1) 一般診療の基本的技能を習得する。
- 2) 患者の問題を正しくとらえ、それを自ら解決する能力を身につける。
- 3) チーム診療を理解し、診療チームの一員として行動する能力を身につける。
- 4) 多数の病像を体験し、診断、治療技術の向上をはかる。
- 5) 家庭医としての基本的技能を習得する。
- 6) 特殊診療の基本を理解する。

（態度、習慣）

- 7) 患者を全人的に把握し、患者から医学を学ぶ態度を身につける。
- 8) 医師としての倫理的原則を理解する。
- 9) 職業に対する責任感を培う。
- 10) 医師に必要な習慣を身につける。

（知 識）

- 11) 臨床医学を総合的に学び、医学の進歩に対応できる知識と能力を習得する。
- 12) 家庭医に必要な診断、治療および予防の基礎的知識を習得する。
- 13) 地域医療を理解し、地域の保健、医療に対し正しい展望をもつ。
- 14) 病人に対するすべての社会的救済法を学ぶ。

学外病院における臨床実習では、特に次の点が重要である。

- 1) 大学病院で経験するより広い臨床分野を学習する。
- 2) 大学病院の実習を補い、さらに十分な臨床例を多数経験する。
- 3) 各教育協力病院が筑波大学附属病院とは異なる特殊性とその役割を理解し、特殊性についてはその知識と技術を学習する。各教育協力病院等の規則を厳守する。
- 4) 技能については、ことに指導医の指示に従う。
- 5) 地域の保健、医療に対する理解を深める。

筑波大学附属病院における臨床実習では、特に次の点が重要である。

- 1) 筑波大学附属病院における専門的臨床分野を学習し、多くの臨床例を経験する。
- 2) 筑波大学附属病院における特殊性と役割を理解し、専門分野における知識と技術の基礎を学習する。
- 3) 技能については指導医の指示に従う。
- 4) 臨床研究を理解し学習する。

筑波大学基礎医学系・臨床医学系・社会医学系研究室実習では、特に次の点が重要である。

- 1) 基礎医学・臨床医学・社会医学研究の重要性を理解し、基本となる研究の知識と技術を学習する。
- 2) 指導教員より各種の技術手技法を習得する。

## 2 実習内容

1) 履修時期：平成 20 年 4 月 14 日（月）から 6 月 20 日（金）まで。

2) 実習領域と履修期間

A) Electives 学外病院臨床実習コース

各自希望する病院・診療科を 2 週または 1 週間選択する。

B) 筑波大学附属病院臨床実習コース

各自希望する診療科または 2 週または 1 週間選択する。

C) 研究室実習コース（新医学専攻）

基礎医学系、臨床医学系、社会医学系より研究グループを選択。

**大学附属病院実習**  
**脳神経外科**

1. オリエンテーション 第1日目集合場所 学系棟620討議室 集合時刻 8:00  
指導教員名 鮎澤 聡

**2. 学習目標**

脳神経外科手術の実際を知る・基本的手技の体験／術前術後管理の基本的知識・技術・  
手技の習得／神経画像診断・電気生理診断の基本の習得／画像・患者プレゼンテーション  
技能の習得

**3. 指導教員**

高野晋吾（脳腫瘍・下垂体腫瘍） 鮎澤 聡（機能的脳外科） 柴田 靖（神経画像診断）  
山本哲哉（脳腫瘍・放射線治療） 鈴木謙介（脳血管障害・血管内治療・頭蓋底外科）  
中井 啓（脳腫瘍・脊髄） 石川栄一（腫瘍免疫）

**4. 週間予定表（詳細はオリエンテーションにて配付）**

|  |   | 7:30      | 8:00      | 9:00       | 10:30       | 13:30 | 16:00 | 18:30～                 |                    |
|--|---|-----------|-----------|------------|-------------|-------|-------|------------------------|--------------------|
|  | 月 |           | オリエンテーション | 回診<br>血管造影 |             | 血管造影  | 回診    | 放射線治療カンファ<br>てんかん症例検討会 | プレ・X-ray<br>ミーティング |
|  | 火 | レントゲンカンファ |           | 回診<br>手術   |             |       | 回診    | 脳腫瘍病理検討会               |                    |
|  | 水 | 抄読会       |           | 回診<br>手術   |             |       | 回診    |                        | プレ・X-ray<br>ミーティング |
|  | 木 | レントゲンカンファ |           | 教授<br>回診   | メイン<br>カンファ | 手術    | 回診    |                        |                    |
|  | 金 |           |           | 回診<br>手術   |             | 手術    | 回診    | リハ・カンファ                |                    |

**5. 注意事項**

適宜クルズスを行ないます。

実習内容は希望に応じて調整するので早めに鮎澤まで連絡すること。

(PHS91713、[sayuzawa@md.tsukuba.ac.jp](mailto:sayuzawa@md.tsukuba.ac.jp))

**大学附属病院実習**  
**腎泌尿器内科**

1. オリエンテーション 第1日目集合場所 附属病院4F血液浄化療法部 集合時刻 8:30

指導教員名 山縣 邦弘

**2. 学習目標**

医療チームの一員として、指導医のもとで診療に携わり、腎臓内科疾患に関わる基本的な診療技術、知識を習得する。

**3. 指導教員**

山縣 邦弘、鶴岡 秀一、楊 景堯、斎藤 知栄、  
森戸 直記、臼井 丈一、萩原 正大

**4. 週間予定表**

|   |               | 13:00 | 14:00        | 15:30         | 16:00       | 17:00 | 18:00 |
|---|---------------|-------|--------------|---------------|-------------|-------|-------|
| 月 | 血液透析・<br>病棟実習 |       | シャント<br>手術   | 病 理<br>カンファンス | 病棟<br>実習    |       |       |
| 火 | 病棟実習          |       | 腎 検・<br>病棟実習 |               |             |       |       |
| 水 | 血液透析・<br>病棟実習 |       | 病棟<br>実習     | 教授回診          |             |       |       |
| 木 | 病棟実習          |       | 病棟実習         |               |             |       |       |
| 金 | 血液透析・<br>病棟実習 |       | 病棟実習         |               | 新 患<br>透析回診 |       |       |

**5. 注意事項**

血液透析、病棟実習の際にクルズスを適宜施行する。  
回診、時間は変更の可能性があるので確認のこと。

**大学附属病院実習**  
**皮膚科**

**1. オリエンテーション** 第1日目集合場所 B棟6F小検査室 集合時刻 8:20  
指導教員名 大塚 藤男

**2. 学習目標**

- 1) 皮膚科病棟患者の入院から退院までのすべてについてレジデントと共に行動し、皮膚科チームの一員として行動する。
- 2) 外来実習を行なう。
- 3) 皮膚科における生検・手術に参加し、その一部は教育監督下を実施しうる。
- 4) 組織カンファランスにも出席する。

**3. 指導教員**

川内 康弘、高橋 毅法、石井 良征、古田 淳一、中村 泰大

**4. 週間予定表**

| 9:00 |   | 12:00             |    | 13:00 |          | 17:00 |           | 18:00 |
|------|---|-------------------|----|-------|----------|-------|-----------|-------|
|      | 月 | オリエンテーション<br>手術参加 |    |       | 手術参加     |       |           |       |
|      | 火 | 病棟                | 外来 |       | 患者<br>デモ | 生検・手術 | プレ<br>回診  |       |
|      | 水 | 教授回診              |    |       | 病棟・外来    |       |           |       |
|      | 木 | 病棟                | 外来 |       | 患者<br>デモ | 生検・手術 | 組織カンファランス |       |
|      | 金 | 病棟                | 外来 |       | 病棟・外来    |       |           |       |

**5. 注意事項**

診療に参加する実習であるので、服装、行動には特段の配慮と注意をすること。

## 大学附属病院実習

### 神 経 内 科

1. オリエンテーション 第1日目集合場所 病棟B棟7F730病棟 集合時刻 8:30  
指 導 教 員 名 玉 岡 晃、他

### 2. 学習目標

- 1) レジデントとPerson to Personで診療チームの一員として行動する。
- 2) POSによって考え、カルテに記録できるようになる。
- 3) 毎日受持ち患者に会い話を聴き診療する。
- 4) 教員と毎日、朝と夕方、時間を決めて会い、予定や質疑の情報交換をする。
- 5) 外来実習をする。
- 6) 研究室見学をする。

### 3. 指導教員

玉 岡 晃、渡 辺 雅 彦、石 井 一 弘、  
石 井 亜 紀 子、中 馬 越 清 隆、詫 間 浩

### 4. 週間予定表

|  | 月 | 8:30ー オリエンテーションおよび、<br>病棟実習（第1週）<br>9:00ー 外来実習（第2週） | 病棟実習 17:00ー ラウンド                                                             |
|--|---|-----------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|
|  | 火 | 病棟実習                                                | 13:30ー 電気生理検査<br>（針筋電図，末梢神経伝導速度）<br>17:00ー ラウンド                              |
|  | 水 | 8:00ー 回診（7階討議室）                                     | 17:00ー レフェラート<br>及びカンファレンス                                                   |
|  | 木 | 病棟実習                                                | 病棟実習 17:00ー ラウンド                                                             |
|  | 金 | 9:00ー 外来実習（第1週）                                     | 13:30ー 電気生理検査<br>その後，病棟実習，研究室見学等<br>17:00ー ラウンド<br>18:00ー 診療グループ長<br>試問及びまとめ |

※ 予定は若干の変更があり得る。

※ 行事の合間にクルズスや他の外来実習が行われる。

## 大学附属病院実習

### 腎 泌 尿 器 外 科

1. オリエンテーション 第1日目集合場所 学系棟8階討議室(832) 集合時刻 7:45

指導教員名 及川 剛宏、常楽 晃

### 2. 学習目標

教員あるいはチーフレジデントの指導のもと、ジュニアレジデントと共に患者を受け持ち、診療・治療に携わる。患者との関わりの中で、臨床に必要な技術・心構えを習得できるようにする。

### 3. 指導教員

赤座 英之、島居 徹、河合 弘二、宮永 直人、  
樋之津 史郎、関戸 哲利、及川 剛宏、常楽 晃

### 4. 週間予定表

|  |   |            |        |           |       |        |
|--|---|------------|--------|-----------|-------|--------|
|  | 月 | 8:00       | 9:00   | 14:30     | 16:00 | 18:15  |
|  | 火 | 8:00       | 9:00   | 13:00     | 16:30 |        |
|  | 水 | 8:00       | 9:00   | 13:00     | 16:30 | 18:00  |
|  | 木 | 8:00       | 9:00   |           | 16:30 |        |
|  | 金 | 8:00       | 9:00   | 14:00     | 16:30 | 18:00  |
|  |   | 病棟回診 外来実習  |        | X線カンファレンス | 教授回診  | 抄読会    |
|  |   | 病棟回診 透視下処置 | 病棟実習   |           | 病棟回診  |        |
|  |   | 病棟回診 外来実習  | 超音波検査  |           | 病棟回診  | 症例カンファ |
|  |   | 病棟回診 手術見学  |        |           | 病棟回診  |        |
|  |   | 病棟回診 透視下処理 | 経直腸超音波 | カルテ回診     | 試問    |        |

### 5. 注意事項

適宜クルグスを行う予定

## 大学附属病院実習

### 整 形 外 科

1. オリエンテーション 第1日目集合場所 附属病院5階討議室 集合時刻 8:00  
指 導 教 員 名 金 森 章 浩

### 2. 学習目標

- ・ 基本的な運動器疾患についての診察法を会得する
- ・ 手術室実習

### 3. 指導教員

整形外科教員全員

### 4. 週間予定表

| AM |   |              | PM   |
|----|---|--------------|------|
|    | 月 | 病棟回診<br>手術実習 | 外来実習 |
|    | 火 | 教授回診         | 病棟   |
|    | 水 | 手術実習         | 手術実習 |
|    | 木 | 病棟回診         | 病棟回診 |
|    | 金 | 手術実習         | 手術実習 |

### 5. 注意事項

整形外科教科書を持参する。

## 大学附属病院実習

### 膠原病・リウマチ・アレルギー内科(膠原病内科)

1. オリエンテーション 第1日目集合場所 530病棟 集合時刻 8:30  
指導教員氏名 BSL担当教員

## 2. 学習目標

全身性自己免疫疾患の診断と治療の実際を研修すると共に、主要な全身性自己免疫疾患の診断法・治療法の基本的知識の確認・修得をおこなう。

3. 指導教員 氏 名 担当項目  
伊 藤 聡 自己免疫疾患と腎  
松 本 功 免疫学と自己免疫疾患  
後 藤 大 輔 膠原病治療の実際  
林 太 智 主要な自己免疫疾患の診断

## 4. 週間予定表

|  |   | 9  | 10       | 11   | 12   | 13        | 14   | 15        | 16        | 17 |
|--|---|----|----------|------|------|-----------|------|-----------|-----------|----|
|  | 月 | 回診 | クルズス     | 病棟業務 |      |           |      | オリエンテーション | 病棟カンファレンス |    |
|  | 火 | 回診 |          | 症例検討 | 病棟業務 | 病棟カンファレンス | 病棟業務 |           |           |    |
|  | 水 | 回診 | クルズス     | 病棟業務 |      |           |      | クルズス      | 病棟業務      |    |
|  | 木 | 回診 | 生物学的製剤治療 |      | 病棟業務 |           |      |           | 病棟カンファレンス |    |
|  | 金 | 回診 | クルズス     | 病棟業務 |      |           |      |           |           |    |

## 5. 注意事項

- ・クルズスに関しては各週、担当教員の都合により予定が変更になるので、第1日目に配布されるM6用の週間予定表にて確認する。
- ・木曜日の午後の回診の開始時間は隔週で変わるので、第1日目にその週の開始時間を確認する。
- ・火曜日の回診は7階討議室にて行い、集合は8:20です。
- ・月曜日と木曜日の病棟カンファレンスは、5階医師室にて行います。

## 6. その他

上記以外の詳細は、第1日目のオリエンテーションで説明します。

## 大学附属病院実習

### 呼吸器内科

1. オリエンテーション 第1日目集合場所 630病棟医師室 集合時刻 8:40  
指導教員氏名 病棟実習担当教員

### 2. 学習目標

呼吸器系の構造と機能を理解し、主な呼吸器疾患を受け持ち、病態生理、症候、診断、治療と予後について実習を通して学ぶ。

### 3. 指導教員

その週のM4、M5、M6の実習担当教員

檜澤 伸之、大塚 盛男、佐藤 浩昭、坂本 透、  
石井 幸雄、森島 祐子、栗島 浩一、小川 良子

### 4. 週間予定表

| 13:00 |   |             |                |
|-------|---|-------------|----------------|
|       | 月 | 病棟業務        | 教授回診 薬剤勉強会（隔週） |
|       | 火 | 肺機能検査       | 肺機能検査 病棟業務     |
|       | 水 | 病棟業務        | 気管支鏡検査 病棟業務    |
|       | 木 | 病棟業務        | 病棟業務 病理検討会     |
|       | 金 | 准教授回診 肺機能検査 | 気管支鏡検査 肺機能検査   |

### 5. 注意事項

基本的にレジデントと行動を共にし、病棟業務の補助を行う。  
時間厳守、禁煙。服装、行動、礼儀作法には特段の配慮と注意をする。  
学びたい意思、協調性のない者は学習意欲が無いものと判断する。

### 6. その他

月曜日が休日の場合、集合時間、場所は同じ。

**大学附属病院実習**  
**眼 科**

1. オリエンテーション 第1日目集合場所 200外来 集合時刻 8:50  
指導教員氏名 グループ長 ほか

**2. 学習目標**

①病棟実習：眼科入院患者の入院から退院までのすべてについて、レジデントと共に行動し実習する。

②外来実習：眼科外来患者について、教員あるいはレジデントと共に診療活動に参加する。諸検査・治療を見学・実習すると共に、その一部は教育監督下を実施しうる。

手術室実習：肉眼的手術には、第2助手として手術に加わる。顕微鏡手術では第3助手として準備、器械だしに加わる。

その他：抄読会・カンファレンスなどにも出席する。

**3. 指導教員**

大鹿 哲郎、加治 優一、岡本 史樹、平岡 孝浩、  
木内 貴博、佐藤 正樹、川名 啓介

**4. 週間予定表**

| 8:30 8:50 |   |                    | 9:00                         |  |  | 12:00 13:00 13:30 |                 |                              | 16:30 17:00 18:00 |            |          |
|-----------|---|--------------------|------------------------------|--|--|-------------------|-----------------|------------------------------|-------------------|------------|----------|
|           | 月 | レクチャー<br>M5と<br>合同 | レクチャー<br>(大鹿or岡本)            |  |  |                   |                 | 視野・斜視 レクチャー                  | 教授<br>回診          | チャート<br>回診 |          |
|           | 火 | 手術室実習              |                              |  |  |                   | (眼底実習・川名)       |                              |                   |            |          |
|           | 水 |                    | 豚眼実習あるいは<br>白内障・緑内障<br>レクチャー |  |  |                   |                 | 病棟実習<br>外来特殊検査・治療の見学<br>器械実習 |                   |            |          |
|           | 木 | 手術室実習              |                              |  |  |                   | クルーズ<br>(平岡、木内) |                              |                   |            |          |
|           | 金 |                    | 外来実習<br>(佐藤)                 |  |  |                   |                 | 病棟実習<br>外来特殊検査<br>治療の見学      |                   |            | 病棟<br>回診 |

※原則として以上の予定ですが、緊急な用件または講義、会議などにより急に予定が変更になることがたびたびあります。どうぞご理解ください。

※私たちには患者さんのプライバシーを守る守秘義務があります。名前・IDや病名を他人に漏らしてはいけません。これがわかるようなメモも落としたりしてはいけません。気をつけてください。配布された患者リストには、自分の名前を書いて実習終了時に教員に返却してください。

**大学附属病院実習**  
**呼吸器外科**

1. オリエンテーション 第1日目集合場所 4階会議室B435 集合時刻 8:00  
指導教員氏名 鬼塚正孝

2. 学習目標

診療やカンファレンスに参加して、現在自分の持っている知識を応用して各患者における今後の治療方針を組み立てる。

3. 指導教員

鬼塚正孝

4. 週間予定表

| 8:00 |   |         |                                                 |
|------|---|---------|-------------------------------------------------|
|      | 月 | カンファレンス | 回 診、手 術                                         |
|      | 火 | カンファレンス | 回 診、手 術                                         |
|      | 水 | カンファレンス | 回 診<br>気管支鏡<br>(13:00～ )<br>術前検討会<br>(17:00～ )  |
|      | 木 | カンファレンス | 回 診、手 術<br>組織カンファ<br>(18:00～ )                  |
|      | 金 | カンファレンス | 回 診<br>気管支鏡<br>(13:00～ )<br>週末カンファ<br>(17:00～ ) |

## 大学附属病院実習

### 放射線診断・I V R

1. **オリエンテーション** 第1日目集合場所 F棟1階 画像診断室 集合時刻 8:00  
指導教員氏名 M5実習担当教員

## 2. 学習目標

画像診断の成り立ちとアプローチの方法を実践的に知る

## 3. 指導教員

南 学 及びその週のM5実習担当教員

## 4. 週間予定表

|  |   |                                                    |
|--|---|----------------------------------------------------|
|  |   |                                                    |
|  | 月 | 9:00からオリエンテーションを行う（南）。オリエンテーションの際にくわしいカリキュラムを配付する。 |
|  | 火 | <div>本人の希望に応じて、カリキュラムを編成し、病院実習が成果を挙げるべく</div>      |
|  | 水 |                                                    |
|  | 木 |                                                    |
|  | 金 | 8:20～（M5の発表のある週は）発表会に出席                            |

## 5. 注意事項

- (1) あいさつをすること
- (2) 自主的・積極的に実習に取り組むこと
- (3) 臨床である事を常に念頭におくこと

**大学附属病院実習**  
**消化器内科**

1. **オリエンテーション** 第1日目集合場所 1130医師室 集合時刻 9:00  
指導教員氏名 兵頭一之介

2. **学習目標**

消化器内科疾患の症候と疾患について学び、診断から治療への流れを理解する。

3. **指導教員**

中原 朗、正田 純一、安部井 誠人  
松井 裕史、鈴木 英雄、福田 邦明、森脇 俊和

4. **週間予定表**

消化器内科週間スケジュール

|    |                                    |                                                 |                                                                                         |
|----|------------------------------------|-------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| 月曜 | 9:00～<br>15:30～                    | (内視鏡室)<br>(11F討議室)                              | 上部・下部消化管内視鏡、内視鏡治療、胆道内視鏡など<br>肝回診                                                        |
| 火曜 | 17:00～<br>18:00～<br>19:00～         | (11F医師室)<br>(内視鏡室)<br>(11F討議室)                  | 管回診<br>内視鏡カンファ<br>説明会、総回診準備                                                             |
| 水曜 | 9:00～<br>12:00～<br>15:00～          | (内視鏡室)<br>(学系棟520)<br>(B棟4F読影室)                 | 上部・下部消化管内視鏡<br>説明会<br>教授回診                                                              |
| 木曜 | 9:00～<br>9:00～<br>16:00～<br>18:00～ | (内視鏡室)<br>(超音波室)<br>(F棟1F画像読影<br>室)<br>(10F討議室) | 上部・下部消化管内視鏡、内視鏡治療、胆道内視鏡など<br>腹部エコー、肝生検、ラジオ波焼灼術 (RFA) など<br>消化器合同カンファレンス<br>消化器内科カンファレンス |
| 金曜 | 9:00～                              | (内視鏡室)                                          | 上部・下部消化管内視鏡、内視鏡治療<br>肝組織カンファ、陽子線カンファ、アンギオカンファなどは不定期なので適宜連絡します。                          |

5. **注意事項**

担当医師と行動を共にしてクリニカルクラークシップを実行する。  
受け持ち患者は毎日診察、診療録に記載し、担当医のチェックを受ける。  
教員のクルズスがあるので、実習担当教員に日程を確認すること。また、日程が変更される場合があるので必ず事前にクルズス担当者に確認すること。

**大学附属病院実習**  
**耳鼻咽喉科**

1. オリエンテーション 第1日目集合場所 630 討議室 集合時刻 8:45  
指導教員氏名 原 晃

2. 学習目標

- 1) 病棟グループに属し、レジデント、教員と共に行動する。
- 2) 所属グループの手術に入り、外来実習も行う。又、各種カンファランスに出席する。

3. 指導教員

原 晃、和田 哲郎、大久保 英樹、田淵 経司、辻 茂希、飛田 忠道

4. 週間予定表

| 7:30 8:45 |   |     | 12:00 13:00       |  | 17:30                   |                    |
|-----------|---|-----|-------------------|--|-------------------------|--------------------|
|           | 月 |     | 総 回 診             |  | 病棟実習<br>(所見のとり方、画像クルグス) | 放射線<br>カンファランス     |
|           | 火 |     | 病棟実習<br>(2週目外来実習) |  | 病 棟 実 習                 |                    |
|           | 水 | 抄読会 | 手 術 実 習           |  |                         | 17:00 ~<br>カンファランス |
|           | 木 |     | 病棟実習<br>(2週目外来実習) |  | 病 棟 実 習                 |                    |
|           | 金 |     | 手 術 実 習           |  |                         | 術前<br>カンファ<br>ランス  |

5. 注意事項

時間厳守

**大学附属病院実習**  
**内分泌代謝・糖尿病内科**

1. **オリエンテーション** 第1日目集合場所 8F医師室 集合時刻 8:40  
指導教員氏名 山田 信博

2. **学習目標**

- ① 内分泌代謝疾患を病態生理に基づいて理解できるようになる。
- ② Evidence - Based Medicine (EBM) や行動科学による患者アプローチについて学ぶ。
- ③ 糖尿病教室や教育入院カンファレンスに参加し、患者指導の実際について学ぶ。

3. **指導教員**

島野 仁、鈴木 浩明、高橋 昭光、矢藤 繁、小林 和人

4. **週間予定表**

| 8:30 |   | 9:00 | 12:00 |  | 13:00 | 17:30        |
|------|---|------|-------|--|-------|--------------|
|      | 月 | 回診   | 病棟実習  |  | 病棟実習  | クリニカルカンファレンス |
|      | 火 | 回診   | 病棟実習  |  | 病棟実習  | 回診           |
|      | 水 |      | 教授回診  |  | 教授回診  | 教育入院カンファレンス  |
|      | 木 | 回診   | 病棟実習  |  | 病棟実習  | 回診           |
|      | 金 | 回診   | 病棟実習  |  | 病棟実習  | 回診           |

5. **注意事項**

実習期間中は、内分泌代謝・糖尿病内科の一員として、レジデントや指導医とともに診療に参加する。  
診療には積極的に参加すること。

6. **その他**

毎日15時から糖尿病教室がある（水曜日のみ14時から）ので、参加すること。

**大学附属病院実習**  
**乳腺・甲状腺・内分泌外科**

1. **オリエンテーション** 第1日目集合場所 930 討議室 集合時刻 8:00  
 指導教員氏名 植野 映

**2. 学習目標**

- (1) 癌の発生と進展を理解する。
- (2) 内分泌疾患の制御法を理解する。
- (3) 癌の診断技術を習得し、実践する。
- (4) 癌の外科的治療、薬物療法を理解する。

**3. 指導教員**

植野 映、八代 享、原 尚人、坂東 裕子

**4. 週間予定表**

|  | 月 | 8:00<br>総回診<br>術後カンファレンス | 9:00<br>手術   | 13:00<br>超音波ビデオ自習 | 17:00<br>超音波検査     | I C                    |
|--|---|--------------------------|--------------|-------------------|--------------------|------------------------|
|  | 火 | 8:00                     | 9:00<br>病棟回診 | 外来実習              | 病棟実習               | 17:00<br>I C           |
|  | 水 | 8:00<br>病棟回診             | 8:30<br>手術   | 13:00<br>手術       |                    | 19:00<br>病理<br>カンファレンス |
|  | 木 | 8:00<br>術前<br>カンファレンス    | 9:00<br>回診   | 10:00<br>外来実習     | 13:00<br>病棟実習／院外実習 |                        |
|  | 金 | 7:45<br>病棟回診             | 8:30<br>手術   | 13:00<br>超音波検査    | 17:00<br>I C       | 18:00<br>試問            |

**5. 注意事項**

- ① 医師となる誇りをもち、礼儀・作法を守り、身なりを整えること。
- ② 患者様の立場を考え、常にやさしくすること。
- ③ 禁煙
- ④ 診察時は時計をはずすこと。

**6. その他**

- ① 5年生のクルズスへの参加は可。
- ② 外来の見学は各教員に申し出ること。

# 医 学 総 括

## 1. 総括講義

### 1・1 一般学習目標

医学専門学群の統合カリキュラムの最終段階において、これまでの学習により得た知識と技術を臨床医学各領域および社会医学の立場から総括し、医師として必要な基本的臨床能力を身につける。

### 1・2 学習方法

- 1) 臨床講義室において第6年次全学生を対象として行われる。
- 2) 授業時間は別紙時間割表による。

### 1・3 学習内容

別表の通りコース#1～コース#20が行われる。

### 1・4 評価

総括試験

## コース#1 運動系臨床

Coordinator：落合 直之

| 学習項目                       | Keywords                                                                                                                                         | 担当教員  |
|----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| 脊柱・末梢神経・筋の疾患外傷             | 変形性脊椎症、側弯、椎間板ヘルニア、麻痺像、Seddon 分類、絞扼性神経障害、阻血性拘縮、脊髄損傷                                                                                               | 落合 直之 |
| 上肢の疾患外傷                    | 肩周囲炎、腱板損傷、外反肘、内反肘、手指変形、intrinsic plus、肩脱臼、顆上骨折、外顆骨折、Monteggia 骨折、Colles 骨折、舟状骨骨折                                                                 | 落合 直之 |
| 下肢の疾患・外傷                   | 強直性脊椎炎、骨盤骨折、先天性股関節脱臼、ペルテス病、大腿骨頭すべり症、大腿骨頭壊死症、股関節炎、変形性股関節症、大腿骨頸部骨折、外傷性股関節脱臼、半月板損傷、前十字靱帯断裂、変形性膝関節症、コンパートメント症候群、疲労骨折、先天性内反足、外反母趾、アキレス腱断裂、足関節捻挫       | 石井 朝夫 |
| 下肢の疾患・外傷<br>(2)・腫瘍・感染・系統疾患 | 骨軟骨腫、内軟骨腫、骨巨細胞腫、骨嚢腫、骨肉腫、軟骨肉腫、Ewing 肉腫、転移性骨腫瘍、脂肪腫、神経鞘腫、ガングリオン、化膿性骨髄炎、化膿性関節炎、骨・関節結核、軟骨無形成症、脊椎骨端異形成症、骨形成不全症、大理石骨病、多発性骨端異形成症、骨粗鬆症、骨軟化症、くる病、上皮小体機能亢進症 | 石井 朝夫 |

## コース#2 眼系臨床

Coordinator : 大鹿 哲郎

| 学習項目     | Keywords                                  | 担当教員  |
|----------|-------------------------------------------|-------|
| 屈折異常、白内障 | 屈折異常の種類、発生機序、光学的矯正、手術療法、水晶体疾患             | 大鹿 哲郎 |
| 網膜硝子体疾患  | 糖尿病網膜症、網膜剥離、眼内異物、眼球破裂、網膜中心静脈閉塞症、網膜中心動脈閉塞症 | 岡本 史樹 |
| 角結膜疾患    | 角膜炎、結膜炎、角膜変性症、円錐角膜、角膜移植                   | 加治 優一 |
| 緑内障      | 緑内障の種類、病態、点眼薬、手術療法                        | 木内 貴博 |

## コース#3 耳鼻咽喉系臨床

Coordinator : 原 晃

| 学習項目       | Keywords            | 担当教員  |
|------------|---------------------|-------|
| めまいと難聴     | 聴力検査、めまい検査、誘発電位     | 和田 哲郎 |
| 頭頸部腫瘍と再建手術 | 手術、抗がん剤・放射線・有茎良弁    | 和田 哲郎 |
| 急性及び慢性中耳炎  | 難聴、耳痛、ティンパノグラム、伝音難聴 | 原 晃   |
| 慢性副鼻腔炎その他  | 病態的局所解剖診断法、治療法      | 原 晃   |

## コース#4 皮膚系臨床

Coordinator : 大塚 藤男

| 学習項目   | Keywords       | 担当教員  |
|--------|----------------|-------|
| 炎症性角化症 | 乾癬、PUVA        | 古田 淳一 |
| 水疱症    | 皮膚免疫、蛍光抗体法     | 石井 良征 |
| 母斑、母斑症 | 奇形、良性腫瘍、遺伝     | 川内 康弘 |
| 悪性黒色腫  | 悪性腫瘍、色素、TNM 分類 | 高橋 毅法 |

コース#5 精神臨床

Coordinator：朝田 隆

| 学習項目     | Keywords                                  | 担当教員  |
|----------|-------------------------------------------|-------|
| 内因性精神障害  | 統合失調症（精神分裂病）、躁うつ病、非定型精神病                  | 朝田 隆  |
| 心因性精神障害  | 神経症、心身症、摂食障害、人格障害                         | 堀 孝文  |
| 身体因性精神障害 | 器質性精神障害、症状性精神障害、中毒性精神障害                   | 水上 勝義 |
| 精神科治療    | 抗精神病薬、抗不安薬、抗うつ薬、抗てんかん薬、精神療法、電気ショック療法、社会療法 | 堀 正士  |

コース #6 呼吸系臨床  
孝

Coordinator : 檜澤 伸之、鬼塚 正

| 学習項目                               | Keywords                                                                      | 担当教員           |
|------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 呼吸器感染                              | 細菌性肺炎、MRSA 肺炎、マイコプラズマ肺炎、肺真菌症、pneumocystiscarinii 肺炎、お<br>うむ病、抗酸菌感染症、非定型抗酸菌感染症 | 石井 幸雄          |
| 気管支病変                              | 慢性気管支炎、気管支喘息、気管支拡張症、び<br>まん性汎細気管支炎、BOOP                                       | 檜澤 伸之          |
| 肺実質病変、吸入性肺<br>疾患                   | 肺気腫、特発性間質性肺炎、過敏性肺炎、肺線<br>維症、塵肺症、呼吸不全、HOT                                      | 大塚 盛男          |
| 肺腫瘍                                | 原発性肺癌、良性肺腫瘍、転移性肺腫瘍                                                            | 佐藤 浩昭          |
| 肺循環障害                              | 肺水腫、肺塞栓、原発性肺高血圧症、肺性心                                                          | 坂本 透           |
| 全身性疾患にともな<br>う肺病変・胸膜疾患             | 肺サルコイドーシス、肺胞蛋白症、膠原病の肺<br>病変、Goodpasture 病、胸膜炎、胸膜中皮腫、<br>気胸                    | 大塚 盛男          |
| 呼吸器疾患の外科的<br>治療とくに肺癌治療<br>の現況、胸部外傷 | 開胸術、胸腔ドレナージ、気管切開術、肺癌手<br>術術式、低侵襲手術、手術予後、胸部外傷                                  | 鬼塚 正孝          |
| 縦隔腫瘍とくに胸腺<br>腫の臨床                  | 胸腺腫、重症筋無力症、奇型腫、先天性嚢腫、<br>神経系腫瘍、胸腔内甲状腺腫                                        | 石川 成美          |
| 気胸と膿胸及び細胞<br>診と肺生検                 | 気胸、膿胸、術後感染、喀痰細胞診、気管支生<br>検、肺生検                                                | 酒井 光昭<br>後藤 行延 |

コース #7 循環系臨床

Coordinator : 青沼 和隆、榊原 謙

| 学習項目              | Keywords                                                                                                                           | 担当教員           |
|-------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 急性心機能不全の臨床的評価     | 心臓性ショック、低心拍出量症候群、うっ血性心不全、肺性心、中心静脈圧、肺動脈（楔入）圧、心拍出量、Swan-Ganz カテーテル、補助循環                                                              | 筒井 達夫          |
| 慢性心不全の成因と治療       | 圧負荷、容積負荷、心筋収縮力、不整脈、低塩食、ジギタリス、利尿薬、不応性心不全                                                                                            | 酒井 俊           |
| 心電図のよみ方、不整脈の診断と治療 | 自動能、刺激伝導系、作業心筋、徐脈性不整脈、頻脈性不整脈、心電図各コンポーネントの成因                                                                                        | 青沼 和隆          |
| 胸部 X 線・心音図・心エコー図  | 収縮期雑音、拡張期雑音、M モードエコー図、心断層図、ドップラー                                                                                                   | 河野 了           |
| 虚血性心疾患の診断と治療      | 狭心症、心筋梗塞、抗狭心症薬、リハビリテーション、手術適応、冠状動脈血行再建術、心室中隔穿孔閉鎖術、心室瘤切除術、大動脈内バルーン・パンピング (IABP)                                                     | 渡邊 重行<br>榊原 謙  |
| 弁膜症の診断と治療         | 心雑音、心エコー図、心血管造影法、手術適応、弁置換術、人工弁、弁形成術                                                                                                | 瀬尾 由広<br>榎本 佳治 |
| 先天性心疾患の診断と治療      | 心房中隔欠損症、心室中隔欠損症、動脈管開存症、肺動脈弁狭窄症、Fallot 四徴症、成人の先天性心疾患、手術適応、低酸素血症、肺血流量、姑息的手術、短絡手術、開心根治手術、人工心臓                                         | 堀米 仁志          |
| 心筋症・心内膜炎、心膜炎      | リウマチ性心内膜炎、感染性心内膜炎、急性心膜炎、慢性心膜炎、肥大型心筋症、拡張型心筋症、心筋炎、左房粘液腫、続発性心筋疾患                                                                      | 河野 了           |
| 高血圧の病態と治療         | 高血圧の分類、二次性高血圧、重症度、眼底所見、脳・心臓・腎の合併症、降圧薬の種類と作用点、降圧薬の副作用、降圧薬の選択                                                                        | 大塚 定徳          |
| 血管疾患の診断と治療        | 大動脈瘤、閉塞性動脈疾患（急性・慢性）、間歇性跛行、安静時疼痛、潰瘍、脱疽、閉塞性静脈疾患、下肢静脈瘤、Homan's sign, Trendelenburg テスト、血栓（内膜）摘除術、交感神経節切除術、血行再建術、ストリッピング、人工血管、自家静脈グラフト | 本間 覚<br>佐藤 藤夫  |

コース #8 消化系臨床

Coordinator : 兵頭一之介、大河内信弘

| 学習項目           | Keywords                                                                                                                                                                                                                                                                  | 担当教員  |
|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| 胃炎と消化性潰瘍       | 萎縮性胃炎、腸上皮化生、急性胃粘膜病変 (AGML)、Menetrier 病、胃びらん、十二指腸潰瘍、胃潰瘍、Zollinger-Ellison 症候群、塩酸、壁細胞、ペプシン、ガストリン、ソマトスタチン、粘膜、重炭酸、血流、プロスタグランディン、H <sub>2</sub> 受容体拮抗剤、プロトンポンプ阻害剤、攻撃因子、防御因子、非ステロイド系消炎鎮痛剤 (NSAIDs)、 <i>Helicobacter pylori</i> 、尿素呼気試験、迅速ウレアーゼ試験、ペプシノーゲン、除菌治療、アモキシシリン、クラリスロマイシン | 松井 裕史 |
| 大腸の遺伝性疾患と炎症性疾患 | 遺伝子異常、APC、HNPCC、FAP、Gardner 症候群、Peutz-Jeghers 症候群、Cronkhite-Canada 症候群、EMR、細菌性腸炎、大腸結核、放射線性大腸炎、潰瘍性大腸炎、Crohn 病、IVH、TPN、ED、大腸憩室、ベーチェット病、吸収不良症候群、蛋白漏出性胃腸症、過敏性腸症候群、虚血性腸炎                                                                                                       | 中原 朗  |
| 消化管の悪性腫瘍       | 早期食道癌、進行食道癌、早期胃癌、進行胃癌、肉腫、悪性リンパ腫、消化管間葉系腫瘍 (GIST)、大腸腺腫、早期大腸癌、進行大腸癌、肉眼分類、直腸指診、内視鏡検査、造影検査、組織検査、集団検診、免疫便潜血反応、腫瘍マーカー (CEA, AEP)、悪性サイクル、Virchow 転移、Schnitzler 転移 (Douglas)、Krukenberg 腫瘍、外科的治療、内視鏡的治療 (EMR, ESD)、放射線治療、抗癌剤 (化学療法)                                                | 兵頭一之介 |
| 肝炎・肝硬変         | A 型・B 型・C 型肝炎、劇症肝炎、自己免疫性肝炎、薬剤性肝障害、アルコール性肝障害、甲型乙型肝炎硬変、原発性胆汁性肝硬変、ヘモクロマトーシス、食道静脈瘤、高アンモニア血症、肝性昏睡、腹水、特発性門脈圧亢進症、原発性硬化性胆管炎                                                                                                                                                       | 福田 邦明 |
| 肝、胆、膵、悪性腫瘍     | 脂児性蛋白、肝細胞性肝癌、胆管細胞性肝癌、胆管癌、膵癌、インスリノーマ、WDHA 症候群、胆のう小隆起性病変、膵・胆管合流異常                                                                                                                                                                                                           | 正田 純一 |
| 胆石症、膵炎         | コレステロール胆石、色素胆石、黒色石、急性閉塞性化膿性胆管炎、ウルソデオキシコール酸 (UDCA)、腹腔鏡下胆のう摘出術、内視鏡的経乳頭治療 (EST、EPBD)、内視鏡的ドレナージ (ENBD、ステント)、急性膵炎、慢性膵炎、セクレチン、アミラーゼ、重炭酸塩、PS テスト、膵石症                                                                                                                             | 安部井誠人 |

| 学習項目        | Keywords                                                                                                                                                                                                                  | 担当教員  |
|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| 食道疾患の外科治療   | 手術適応、治癒切除、非治癒切除、食道癌手術、食道再建術、食道静脈瘤治療法（非観血的治療法、観血的治療法）、アカラシア手術法、食道裂孔ヘルニア手術法、食道バイパス術、化学・放射線療法 (CRT)                                                                                                                          | 寺島 秀夫 |
| 胃疾患の外科治療    | 縮小手術、標準手術、拡大手術、神経温存、パウチング手術、腹腔鏡（補助下）手術、姑息手術、術後合併症、胃切除後症候群                                                                                                                                                                 | 稲川 智  |
| 小腸・大腸の外科治療  | 腸管吻合術、小腸切除術、人工肛門造設術、虫垂切除術、結腸切除術、直腸癌手術、肛門括約筋温存直腸切除術（超低位前方、低位前方、結腸囊手術）、腹会陰式直腸切断術、Hartmann 手術、側方郭清、自律神経温存側方郭清、大腸全摘術、イレウス解除術、直腸癌術後合併症、Dukes 分類、痔核根治術、J 型回腸囊肛門（管）吻合術、小腸狭窄形成術、鏡視下手術、化学・放射線療法、シートン法                              | 山本 雅由 |
| 膵・脾疾患の外科治療  | 膵癌手術、膵頭十二指腸切除術<br>(Pancreticoduodenectomy : PD)、PD 後再建術 (Whipple 法、Child 法、今永法)、幽門輪温存 PD、膵体尾部切除、リンパ郭清・神経叢郭清、膵液漏、胃内容排出遅延、膵管空腸吻合術、慢性膵炎手術、膵嚢胞腸管吻合術、急性膵炎手術、膵床ドレナージ、摘脾術                                                        | 小田 竜也 |
| 肝・胆道疾患の外科治療 | 肝切除術、肝ドレナージ術、肝嚢胞手術法、肝予備能、肝移植、胆嚢摘出術、胆道外瘻造設術、内視鏡的胆嚢摘出術、肝外胆管切除術、胆道内瘻術、載石術、十二指腸乳頭形成術、拡大胆嚢摘出術、肝膵十二指腸切除術、集学的治療                                                                                                                  | 大河内信弘 |
| 術前術後管理      | 手術侵襲と生体反応、術前状態の評価と管理、術後管理、Vital sign、術後合併症と対策、体液バランス、栄養法（経口、経静脈経腸、高カロリー輸液）、Multiple Organe Failure (MOF)、Disseminated Intravascular Coagulation (DIC)、Systemic Inflammatory Response Syndrome (SIRS)、Second Attack Theory | 寺島 秀夫 |

| 学習項目       | Keywords                                 | 担当教員 |
|------------|------------------------------------------|------|
| 歯・口腔疾患概論 1 | う歯（むし歯）、歯周疾患、口腔外科、先天異常、<br>発育異常、骨折       | 吉田 廣 |
| 歯・口腔疾患概論 2 | 口腔粘膜疾患、感染症、良性・悪性腫瘍、顎関節<br>疾患、唾液腺疾患、顎顔面補綴 | 吉田 廣 |

# コース #9 血液系臨床

Coordinator : 千葉 滋

| 学習項目      | Keywords                           | 担当教員  |
|-----------|------------------------------------|-------|
| 貧血症       | 赤血球指数、欠乏性貧血、溶血性貧血、不応性貧血、再生不良性貧血    | 長谷川雄一 |
| 出血傾向      | 血小板量の異常、血小板質的異常症、凝固異常症、血栓性疾患、抗血栓療法 | 小島 寛  |
| 造血器腫瘍 (1) | 急性白血病、多発性骨髄腫、悪性リンパ腫、リンパ増殖性疾患       | 小島 寛  |
| 造血器腫瘍 (2) | 慢性骨髄増殖性疾患、骨髄異形成症候群、骨髄移植、           | 長谷川雄一 |
| 輸血の実際     | 適正輸血、保存法、成分輸血、輸血副作用                | 松井 良樹 |

# コース #10 自己免疫系臨床

Coordinator : 住田 孝之

| 学習項目                                                  | Keywords                                                                                                                                                                                                    | 担当教員  |
|-------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| 全身性エリテマトーデス (SLE)、Sjögren 症候群                         | subacute cutaneous lupus erythematosus、CSF Ig index、抗カルジオリピン抗体、抗リン脂質抗体症候群、免疫抑制薬、Keratoconjunctivitis sicca、sicca complex、抗 SS-A 抗体、抗 SS-B 抗体、Pseudo lymphoma                                                | 伊藤 聡  |
| RA、MRA、成人発症 Still 病                                   | 滑膜炎、サイトカイン、リウマトイド因子、診断基準、関節外症状、Steinbrocker 分類 (病期、機能障害)、非ステロイド性抗炎症薬 (NSAID)、遅効性薬剤、若年性関節リウマチ                                                                                                                | 住田 孝之 |
| 全身性硬化症、多発性筋炎・皮膚筋炎、混合性結合組織病 overlap 症候群、UCTD (分類不能症候群) | 抗 topoisomerase I 抗体 (抗 Sc1-70 抗体)、抗セントロメア抗体、CREST 症候群、Raynaud 現象、proximal scleroderma、sclerodactylia、間質性肺炎、scleroderma renal crisis、heliotrope 疹、Gottron 徴候、creatine kinase (CK)、抗 Jo-1 抗体、抗 nRNP 抗体、肺高血圧症 | 松本 功  |
| 血管炎症候群、リウマチ性多発筋痛、Behçet 病                             | 壊死性血管炎、抗好中球細胞質抗体 (ANCA)、巨細胞動脈炎、高安動脈炎、結節性多発動脈炎、顕微鏡的多発動脈炎、Wegener 肉芽腫炎、Churg-Strauss 症候群、Henoch-Sch nlein 紫斑症、本態性クリオグロブリン血症性紫斑病、皮膚白血球破壊性血管炎、過敏性血管炎                                                            | 後藤 大輔 |

コース #11 神経系臨床

Coordinator : 玉岡

晃、松村 明

| 学習項目                                | Keywords                                                                                                                                                                                                 | 担当教員                  |
|-------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 頭部外傷                                | 急性硬膜下血腫、急性硬膜外血腫、慢性硬膜下血腫、頭蓋骨折、頭蓋底骨折、髄液漏、脳挫傷、脳神経損傷、治療、びまん性軸索損傷                                                                                                                                             | 鮎澤 聡                  |
| 脳腫瘍                                 | 下垂体腫瘍、神経鞘腫、髄膜腫、松果体部腫瘍、転移性脳腫瘍、神経膠腫、頭蓋内圧亢進症状                                                                                                                                                               | 松村 明                  |
| 脳血管障害                               | 脳梗塞、脳出血、くも膜下出血、高血圧、高脂血症、脳動脈瘤、脳動静脈奇形、もやもや病、内科的治療、外科的治療、脳血管内治療                                                                                                                                             | 鈴木 謙介                 |
| 小児脳神経外科                             | 乳児水頭症、頭蓋縫合早期癒合症、二分脊椎、頭蓋骨椎骨移行部奇形、脊髓空洞症、                                                                                                                                                                   | 榎本 貴夫<br>(つくばセントラル病院) |
| 変性疾患、機能性疾患、先天代謝疾患、内科疾患に伴う神経症状、中毒性疾患 | アルツハイマー病、筋萎縮性側索硬化症、Kugelberg-Welander 病、頭痛、てんかん、Werdnig-Hoffman 病、めまい、本態性振戦、Wilson 病、Lesch-Nyhan 症候群、膠原病、内分泌疾患、肝性脳症、尿毒症性脳症、悪性腫瘍の遠隔効果、ビタミン欠乏症、薬物・重金属・CO・アルコール・生物毒素中毒                                      | 玉岡 晃                  |
| 大脳基底核と小脳の神経疾患                       | パーキンソン病、パーキンソン症候群、ハンチントン病、ジストニア症候群、アテトーゼ、舞蹈病、脊髓小脳変性症、トリプレットリピート病                                                                                                                                         | 渡邊 雅彦                 |
| 脊髓疾患、末梢神経疾患                         | 前脊髓動脈症候群、脊髓出血、脊髓腫瘍、脊髓硬膜外腫瘍、横断性脊髓炎症、脊髓空洞症、後縦靱帯骨化症、末梢神経伝導速度検査、腓腹神経生検、Guillain-Barré 症候群、慢性炎症性脱髄性多発ニューロパチー、Charcot-Marie-Tooth 病、アミロイドーシス、糖尿病性ニューロパチー、ビタミン欠乏性ニューロパチー、薬剤性ニューロパチー、癌性ニューロパチー、血管炎症候群、絞扼性ニューロパチー | 石井 一弘                 |
| 感染症、脱髄疾患、筋疾患                        | 髄膜炎、ウイルス性脳炎、亜急性硬化性脳炎、Creutzfeldt-Jakob 病、HAM、多発性硬化症、急性散在性脳脊髄炎、白質ジストロフィー、進行性筋ジストロフィー、先天性ミオパチー、筋強直性ジストロフィー、重症筋無力症、多発性筋炎、周期性四肢麻痺                                                                            | 石井亜紀子                 |

コース #12 内分泌代謝系臨床

Coordinator : 山田 信博、植野 映

| 学習項目        | Keywords                                                                                                        | 担当教員                |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|
| 脂質代謝異常      | カイロミクロン、VLDL、LDL、HDL、LCAT、動脈硬化                                                                                  | 島野 仁                |
| 甲状腺疾患（内科）   | T3、T4、Free T4、Free T3、TSH、T3 抑制試験、抗甲状腺剤                                                                         | 矢藤 繁                |
| 糖尿病         | 1 型糖尿病（IDDM）、2 型糖尿病（NIDDM）、インスリン療法、糖尿病性昏睡、慢性合併症                                                                 | 山田 信博               |
| 副腎疾患・診断と治療  | Cushing 症候群、原発性アルドステロン症、褐色細胞腫、adrenogenital syndrome、Addison 病                                                  | 鈴木 浩明               |
| 視床下部・下垂体疾患  | フィードバックシステム、負荷試験、下垂体腺腫、先端巨大症、プロラクチノーマ、尿崩症、SIADH                                                                 | 曾根 博仁<br>（お茶の水女子大学） |
| 乳腺疾患        | 乳癌の疫学、乳癌の診断、手術、乳癌の内分泌療法と化学療法、乳癌温存療法                                                                             | 植野 映                |
| 甲状腺疾患（外科）   | Basedow 病の治療、Plummer 病の治療、甲状腺結節の種類と診断の進め方、良性腫瘍と悪性腫瘍の治療方針                                                        | 原 尚人                |
| 上皮小体疾患、頸部腫瘍 | 原発性上皮小体機能亢進症、続発性上皮小体機能亢進症、多内分泌腺腫瘍症（MEN type1, type2）、上皮小体の部位診断法、上皮小体の手術法、頸部腫瘍の診断と治療（先天性腫瘍、頸部リンパ節の炎症、癌の頸部リンパ節転移） | 八代 享                |

コース#13 腎・泌尿系臨床

Coordinator : 山縣 邦弘、赤座 英之

| 学習項目                       | Keywords                                                                                                                                           | 担当教員  |
|----------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| 原発性糸球体疾患                   | 糸球体疾患の分類、臨床病型分類、組織病型分類、WHO 分類、臨床所見、検査所見、腎生検、治療法、予後<br>急性糸球体腎炎症候群、急速進行性糸球体腎炎症候群、反復性・持続性血尿、慢性糸球体腎炎症候群、ネフローゼ症候群、臨床病型と組織病型の対応                          | 山縣 邦弘 |
| 腎不全と血液浄化法                  | 急性腎不全、慢性腎不全、代謝性アシドーシス、高K血症、腎性骨異常栄養症、透析アミロイドーシス、血液透析、CAPD、血漿交換療法                                                                                    | 齋藤 知栄 |
| 続発性腎疾患                     | ループス腎炎、アミロイドーシス、糖尿病性腎症、紫斑病性腎炎、妊娠中毒症、腎硬化症、クリオグロブリン血症、骨髄腫、痛風腎                                                                                        | 楊 景堯  |
| 間質尿細管疾患と遺伝性腎疾患             | 間質性腎炎、尿細管性アシドーシス、アルポート症候群、良性家族性血尿症候群、多発性嚢胞腎                                                                                                        | 鶴岡 秀一 |
| 尿路性器腫瘍・副腎疾患                | 腎細胞癌、腎芽細胞腫、腎血管筋脂肪腫、尿路上皮腫瘍、膀胱腫瘍、腎盂尿管腫瘍、前立腺癌、精巣腫瘍、陰茎腫瘍、原発性アルドステロン症、クッシング症候群、褐色細胞腫                                                                    | 赤座 英之 |
| 尿路閉塞性疾患・神経因性膀胱・尿路性器感染症     | 水腎症、腎盂尿管移行部狭窄症、膀胱尿管逆流症、前立腺肥大症、神経因性膀胱、特異（非特異）的感染症、単純（複雑）性感染症、基礎疾患、腎盂腎炎、膀胱炎、尿道炎、前立腺炎、精巣上体炎、STD、尿路性器結核                                                | 関戸 哲利 |
| 尿路結石症・男子不妊症・性分化異常・勃起不全・腎移植 | 尿路結石症、男性不妊症、性分化異常、半陰陽、ターナー症候群、クラインフェルター症候群、XX男性、ED（勃起不全）、腎移植                                                                                       | 河合 弘二 |
| 泌尿器科的症候と検査・尿路性器奇形・尿路性器外傷   | 血尿、膿尿、混濁尿、無尿、乏尿、尿閉、多尿、頻尿、尿失禁、排尿困難、尿沈渣、直腸指診、腫瘍マーカー（AFP、 $\beta$ HCG、PSA）、KUB、IVP、AP、RP、VCG、TRUS、UFM、UDS、嚢胞腎、馬蹄腎、重複腎盂尿管、尿道下裂、停留精巣、腎血管性高血圧症、尿路外傷、性器外傷 | 島居 徹  |

コース #14 診断治療総論 I

Coordinator : 南

学、川上

康

| 学習項目                    | Keywords                                   | 担当教員  |
|-------------------------|--------------------------------------------|-------|
| 中枢神経系画像診断               | 脳腫瘍、脳血管障害、中枢神経系奇形、頭部外傷、CT、MRI              | 國松 聡  |
| 胸部画像診断                  | 肺腫瘍、肺胞性病変、間質性病変、単純写真、CT、縦隔腫瘍               | 岡本 嘉一 |
| 腹部・骨盤画像診断               | 胃癌、結腸癌、肝癌、膵癌、血管造影、CT、MRI、腎癌、子宮癌、US         | 那須 克宏 |
| 核医学診断                   | 放射性医薬品、集積機序、脳血流、心筋、SPECT、PET               | 武田 徹  |
| 放射線治療                   | 放射線腫瘍学、集学治療、放射線効果の修飾                       | 菅原 信二 |
| Laboratory Medicine (1) | 正常値の概念                                     | 竹越 一博 |
| Laboratory Medicine (2) | 血液・凝固検査・腫瘍マーカー                             | 鈴川 和己 |
| Laboratory Medicine (3) | 遺伝子検査                                      | 磯部 和正 |
| Laboratory Medicine (4) | 免疫血清検査                                     | 川上 康  |
| 中毒と物理的要因                | 中毒総論、血液浄化法、特異的拮抗薬、メトヘモグロビン血症、CO、医薬品、農薬、自然毒 | 水谷 太郎 |

コース #15 診断治療総論 II

Coordinator : 田中

誠、水谷 太郎

| 学習項目           | Keywords                                                                                                                                                                         | 担当教員  |
|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| 全身麻酔           | ガス麻酔薬、揮発性麻酔薬、血液/ガス配分係数、最小肺泡濃度 (MAC)、静脈麻酔薬、ニューロレプト麻酔、完全静脈内麻酔、基本的モニタリング、麻酔事故                                                                                                       | 猪股 伸一 |
| 硬膜外麻酔と脊髄くも膜下麻酔 | 局所麻酔薬、局麻薬中毒、脊髄くも膜下麻酔、PDPH、高比重液、低比重液、硬膜外麻酔、Tuohy 針、dermatome、test dose、サドルブロック                                                                                                    | 田中 誠  |
| 各種疾患患者の麻酔      | 高血圧、虚血性心疾患、不整脈、心不全、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、拘束性肺疾患、糖尿病、甲状腺機能異常、副腎機能異常、肝硬変、低蛋白血症、腎不全、頭蓋内圧亢進、脳虚血、特発性血小板減少症、DIC、重症筋無力症、新生児、高齢者肥満、妊婦、心筋酸素需給バランス、低酸素性肺血管収縮 (HPV)、仰臥位低血圧症候群、Mendelson's syndrome | 福田 妙子 |
| 脳心肺蘇生法         | 一次心肺蘇生、二次心肺蘇生、AHA ガイドライン、脳蘇生、脳保護                                                                                                                                                 | 高橋 伸二 |
| 腫瘍             | がんの疫学、多段階発癌、転移の機序、転移の臓器特異性、付随症候群、遺伝子の病としてのがん、癌・間質相互作用、抗がん剤の作用機序、治療法とその評価                                                                                                         | 小田 竜也 |
| 手術無菌法、基本的手術操作  | 洗浄、消毒、滅菌、滅菌のインジケータ、手術部位感染 (surgical site infection:SSI)、予防的抗菌薬投与、CDC                                                                                                             | 寺島 秀夫 |
| 手術前後管理、手術合併症   | 術前・術後管理、周術期、栄養療法、免疫栄養素、Tight Glycemic Control (TGC)、手術適応、Surgical risk、高齢者、手術合併症、Technical complications、High volume hospital                                                    | 寺島 秀夫 |

| 学習項目                    | Keywords                                                                | 担当教員  |
|-------------------------|-------------------------------------------------------------------------|-------|
| 外傷、熱傷ショック<br>救急処置       | 外傷の初期治療、熱傷の病態と治療、ショックの診断と治療                                             | 安田 貢  |
| 顔面の再建                   | 植皮（分層、全層）、局所皮弁、遠隔皮弁、遊離皮弁、特殊な部位の再建（眼瞼、耳介、鼻、口唇、舌、下顎）、機能の再建（眼瞼挙筋、表情筋、顔面神経） | 富樫 真二 |
| 体表の再建                   | 植皮（分層、全層）、熱傷、悪性腫瘍、放射線障害、乳房再建、胸壁、腹壁の再建、外陰部再建                             | 畑 寿太郎 |
| 手の再建（手の外科入門とマイクロサージャリー） | 挫滅創、切断指再接着、手の奇形                                                         | 遠藤 隆志 |
| リハビリ、障害者の心理社会的側面        | 理学療法、作業療法、言語聴覚療法、活動制限（能力低下）、参加制約（社会的不利）、障害受容                            | 江口 清  |

コース #16 小児臨床

Coordinator : 須磨崎 亮、金子 道夫

| 学習項目                      | Keywords                                                                                                             | 担当教員                |
|---------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|
| 小児科総論・消化器肝胆道疾患            | 胎児発育曲線、カウプ指数、発達里程標、TORCHES、IUGR、栄養所要量、母乳栄養、乳幼児健康診査、年齢別死因、急性乳幼児下痢症、胆道閉鎖症、新生児肝炎                                        | 須磨崎 亮               |
| 小児の先天代謝異常・代謝・内分泌疾患        | インスリン依存型糖尿病、小児肥満、低身長、成長ホルモン分泌不全性低身長症、体質性低身長、思春期早発症、先天性甲状腺機能低下症、先天性副腎過形成、くる病、新生児マススクリーニング、酸血症、高アンモニア血症、制限食、ライソゾーム酵素異常 | 鴨田 知博               |
| 新生児疾患、先天奇形                | 低出生体重児、small-for-dates 児、ハイリスク児、Apgar スコア、分娩外傷、呼吸窮迫症候群、未熟児無呼吸発作、壊死性腸炎、核黄疸、低血糖、メレナ、21 トリソミー、18 トリソミー                  | 宮園 弥生               |
| 小児の感染免疫・呼吸器疾患・アレルギー、小児膠原病 | ウイルス、細菌、真菌、原虫、予防接種、原発性免疫不全症候群、T 細胞不全、B 細胞不全、クループ・細気管支炎、気管支喘息、食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、JRA                                    | 須磨崎 亮               |
| 川崎病、遺伝性不整脈、染色体異常に伴う循環器疾患  | 川崎病、冠動脈瘤、リウマチ熱、感染性心内膜炎、小児の不整脈、先天性房室ブロック、先天性 QT 延長症候群、新生児持続性肺高血圧、NO 吸入療法、プロスタサイクリン、隣接遺伝子症候群                           | 堀米 仁志               |
| 小児の血液疾患・新生物               | 好発年齢、成人疾患との相違                                                                                                        | 福島 敬                |
| 小児の腎・尿路疾患                 | 小児腎疾患の分類、急性腎炎、慢性腎炎、ネフローゼ症候群、腎盂腎炎、小児の尿路感染症、尿細管アシドーシス、ファンコニー症候群、腎とカルシウム代謝                                              | 鴨田 知博               |
| 小児の神経・筋疾患                 | 変性疾患、神経系感染症、小児の痙攣、脳性麻痺、精神遅滞、floppy infant、脊髄性筋萎縮症、筋ジストロフィー症、先天性ミオパチー                                                 | 岩崎 信明<br>(茨城県立医療大学) |

| 学習項目                  | Keywords                                                                                                                      | 担当教員  |
|-----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| 小児外科診断治療総論            | 小児新生児外科疾患の来院時処置、小児の検査、緊急患者の来院時処理、呼吸管理、栄養、感染、外傷                                                                                | 金子 道夫 |
| 小児外科腹部疾患の診断と治療        | 肥厚性幽門狭窄症、胃軸捻、胃十二指腸潰瘍、消化管穿孔、腸閉鎖・狭窄、腸回転異常、メコニウムイレウス、胎便性腹膜炎、壊死性腸炎、Hirschsprung 病、直腸肛門奇形、腸重積、Meckel 憩室、腸管重複症、急性虫垂炎、痔瘻、胆道閉鎖症、胆道拡張症 | 金子 道夫 |
| 小児外科胸部疾患および体表疾患の診断と治療 | 食道閉鎖症、肺嚢胞性疾患、横隔膜ヘルニア、食道狭窄、食道裂孔ヘルニア、気管軟化症、胸壁異常、臍帯ヘルニア、腹壁破裂、臍瘻、臍ヘルニア、鼠径ヘルニア、陰嚢水腫、停留精巣、精巣回転症、脊髄髄膜瘤、頸部リンパ管腫、甲状舌管嚢胞および瘻、側頸瘻        | 金子 道夫 |
| 小児外科腫瘍の診断と治療          | 腫瘍性疾患の部位別分類、小児悪性腫瘍の特徴と診断手順、神経芽種、腎芽種、肝癌、奇形腫群腫瘍、横紋筋肉腫、血管腫、リンパ管腫、グループスタディ                                                        | 小室 広昭 |

| 学習項目                              | Keywords                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 担当教員                |
|-----------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|
| 産科婦人科学概論                          | 婦人科腫瘍学、周産期医学、生殖医学、女性医学                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 吉川 裕之               |
| 出生前診断と垂直感染                        | 羊水穿刺、絨毛採取、胎児採血、超音波診断、母体血清マーカー試験、垂直感染、子宮内感染、産道感染、経母乳感染、HBV : hepatitis B virus、HCV : hepatitis C virus、HIV : human immunodeficiency virus、HTLV-1 : human T lymphotropic virus type-1、TORCH : <i>Toxoplasma gondii</i> 、 <i>Treponeme pallidum</i> 、rubella virus、CMV : cytomegalovirus、HSV : herpes simplex virus、parvovirus B19、VZV : varicella herpes zoster virus、 <i>Chlamydia trachomatis</i> 、 <i>Neisseria gonorrhoeae</i> 、GBS : Group B <i>streptococcus</i> 、HPV : human papillomavirus、 <i>Candida albicans</i> | 濱田 洋実               |
| 個別的妊娠管理と合併症妊娠の対策                  | 妊娠高血圧症候群、前置胎盤、常位胎盤早期剥離、既往帝切妊娠、骨盤位、産科ショック、妊娠継続の可否判定、分娩様式                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 藤木 豊                |
| Non-reassuring fetal status と分娩管理 | Non-reassuring fetal status、胎児血 pH、acidosis、児頭採血、分娩監視装置、胎児心拍数陣痛図 (CTG)、deceleration、分娩準備状態、分娩誘発法、oxytocin、prostaglandin                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 重光 貞彦<br>(龍ヶ崎済生会病院) |
| 女性不妊の診断と治療                        | 生殖補助医療技術 (ART)、人口受精 (AID、AIH)、体外受精-胚移植 (IVF-ET)、顕微授精 (ICSI)、胚凍結保存、胚盤胞移植、Assisted hatching、精巣内精子採取術 (TESE)、卵巣過剰刺激症候群、多胎妊娠、減数手術、第三者の配偶子、胚の提供、借り腹による ART、不妊カウンセリング、着床前診断、クローン技術、ES 細胞                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 岡本 一<br>(筑波学園病院)    |
| 子宮悪性腫瘍                            | SC Junction、予備細胞、扁平上皮化生細胞、核異常細胞、異形成上皮、上皮内癌、浸潤癌、検査・診断、子宮頸癌の臨床進行期分類、子宮体癌の臨床進行期分類、手術療法、放射線療法、化学療法、Neoadjuvant chemotherapy、RALS、A 点線量、B 点線量、HPV                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 沖 明典                |

| 学習項目    | Keywords                                | 担当教員  |
|---------|-----------------------------------------|-------|
| 婦人科良性疾患 | 子宮筋腫、子宮内膜症、子宮腺筋症、良性卵巣腫瘍、絨毛性疾患、性器脱、更年期障害 | 松本 光司 |
| 卵巣悪性腫瘍  | 組織分類、検査・診断、画像断層法、腫瘍マーカー、進行期分類、手術療法、化学療法 | 佐藤 豊実 |

コース #18 人間集団医学

Coordinator : 高橋 秀人、森田 展彰

| 学習項目          | Keywords                                                                                 | 担当教員                |
|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|
| 疫学の基礎         | 疫学の概念（宿主・病因・環境・予防）、観察研究、介入研究、症例対照研究、コホート研究、野外試験、臨床試験                                     | 我妻ゆき子               |
| 人口動態統計        | 年齢調整死亡率（直接法・SMR）人口動態、人口静態、PMI、生命表、国際疾病分類（ICD）、疾病統計、障害統計                                  | 高橋 秀人               |
| 疫学の基本         | 因果関係、罹患率（死亡率）：人時、有病割合（有病率）、オッズ比（OR）、率比（RR）、率差（RD）、寄与割合（AR）、結果を歪める要因：バイアス、交絡因子、疫学研究における倫理 | 岡田 昌史               |
| 国際保健と医療経済     | 国際保健、医療経済、費用対効果、社会保障、医療保険、公費医療、国際医療協力                                                    | 近藤 正英               |
| 医療供給体制と医療従事者  | 病院、診療所、病床、医師、コメディカル、地域差、国際比較、                                                            | 大久保一郎               |
| 医療関係法規        | 医療法、医師法、感染症法、高齢者の医療の確保に関する法、地域保健法、健康増進法、健康保険法、その他の関係法規                                   | 大久保一郎               |
| 国民医療費と診療報酬制度  | 国民医療費の推移、国際比較、出来高払い制、診療報酬制度、薬剤比率、医薬分業、療養担当規則                                             | 大久保一郎               |
| 成人保健          | 主な生活習慣病（悪性新生物、心疾患、脳血管疾患、高血圧、糖尿病）の罹患と死亡、健康日本 21、特定健康診査、一次予防、二次予防、三次予防                     | 土屋 尚之               |
| 食中毒・食品保健と国民栄養 | 食品衛生、食中毒、微生物性食中毒、自然毒、化学物質、食品添加物、食品の安全性、食品衛生法、食品安全基本法、国民栄養、栄養状態の評価、国民健康・栄養調査、健康増進法        | 熊田 薫<br>（つくば国際短期大学） |
| 多因子疾患の遺伝疫学    | 多因子疾患、ヒトゲノム解析、疾患感受性遺伝子、多型、SNP、薬剤応答性関連遺伝子、個の医療、予防医学、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針、遺伝カウンセリング       | 土屋 尚之               |

| 学習項目        | Keywords                                                                                                                                                                                                                     | 担当教員  |
|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| 母子保健        | 出生、乳児死亡、新生児死亡、死産、妊産婦死亡、児童死亡、母子保健法、児童福祉法、次世代育成支援対策、健やか親子 21、母性保護、育児介護休業法、男女共同参画社会基本法                                                                                                                                          | 柳 久子  |
| 我が国の社会保障制度  | 年金制度、障害者福祉、身体障害者福祉法、内部疾患、障害者自立支援法、バリアフリー、生活保護、医療扶助                                                                                                                                                                           | 柳 久子  |
| 高齢者福祉       | 老人保健、高齢者医療制度、介護保険制度、在宅ケア、ゴールドプラン 21、介護予防                                                                                                                                                                                     | 柳 久子  |
| 精神保健福祉      | 精神保健福祉法、精神保健福祉センター、精神障害者社会復帰施設、保護者、精神保健指定医、任意入院、医療保護入院、応急入院、措置入院、同意能力、自傷他害のおそれ、精神科デイケア、アルコールと薬物の乱用・依存・中毒                                                                                                                     | 中谷 陽二 |
| 学校保健        | 学校保健法、学校安全計画、校医、学校薬剤師、保健主事、養護教諭、就学前健康診断、定期健康診断、出席停止、臨時休業、学校環境衛生、学校保健統計調査、突然死、長期欠席者、不登校、いじめ                                                                                                                                   | 森田 展彰 |
| 環境保健制度と産業中毒 | <p>【環境保健】環境基本法・公害健康被害の補償等に関する法律・水道法・下水道法・廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）・環境の概念・生態系と生物濃縮・有害物質の吸収、排泄・地球温暖化・オゾン層破壊・酸性雨・砂漠化・大気汚染とその指標・水質汚濁とその指標・土壌汚染・内分泌攪乱化学物質・ダイオキシン類・農薬・貴金属類</p> <p>【産業中毒】金属中毒・ガス中毒・有機溶剤中毒・有機化学物質中毒・無機化学物質中毒・農薬中毒</p> | 熊谷 嘉人 |

|                 |                                                                                                                                                                                                                           |       |
|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| 産業保健制度と産業医      | <p>【産業保健】労働基準法・労働安全衛生法・労働者災害補償保健法・じん肺法</p> <p>【産業医と労働安全衛生法】管理体制・産業医の資格と職務・職場の3管理（作業管理・作業環境管理・健康管理）許容濃度・管理濃度・生物学的モニタリング・労働災害・トータルヘルスプロモーション（THP）・労働安全衛生マネジメントシステム</p>                                                      | 松崎 一葉 |
| 職業性疾患と環境因子による障害 | <p>【職業性疾患】職業病・じん肺・作業態様による傷害・職業性腰痛・職業性頸肩腕障害・VDT障害・職業性アレルギー・酸素欠乏症・作業関連疾患</p> <p>【物理的原因による疾患及びその他の生活環境因子による障害】低温・高温環境による疾患・電離放射線障害・非電離放射線障害・気圧による障害・騒音障害・振動障害・家庭用品による中毒・家庭におけるアレルギー・過敏症（化学物質過敏症）・シックハウス・シックビル症候群・事故による障害</p> | 松崎 一葉 |
| 法医学と関連法規（1）     | 死体検案、検案書の書き方、異状死体、死体解剖保存法、親子鑑定、DNE 鑑定の実際、監察医制度                                                                                                                                                                            | 本田 克也 |
| 法医学と関連法規（2）     | 司法解剖、刑事訴訟法、刑事責任、民事責任、法と裁判、人の死と法的手続き                                                                                                                                                                                       | 本田 克也 |

コース #19 感染症

Coordinator : 人見 重美

| 学習項目     | Keywords     | 担当教員                |
|----------|--------------|---------------------|
| 感染症学 (1) | 院内感染         | 人見 重美               |
| 感染症学 (2) | 寄生虫感染症、熱帯感染症 | 大前比呂思<br>(国立感染症研究所) |
| 感染症学 (3) | HIV 感染症      | 大石 毅<br>(東京医大霞ヶ浦病院) |
| 感染症学 (4) | 結核、肺炎        | 福田 潔<br>(筑波病院)      |
| 感染症学 (5) | 菌血症、髄膜炎      | 人見 重美               |

コース #20 医療総論

Coordinator : 朝田 隆、金子 道夫

| 学習項目                   | Keywords                                                   | 担当教員              |
|------------------------|------------------------------------------------------------|-------------------|
| 臨床試験の意義                | 臨床試験、治験、先端医療                                               | 赤座 英之             |
| 臨床判断の基本 (1)            | EBM、RCT、エビデンスの強さ、NNT                                       | 前野 哲博             |
| 臨床判断の基本 (2)<br>スクリーニング | 感度、特異度、ROC 曲線、尤度比、誤差と精度、基準値、有効性と効率性、臨床疫学的指標                | 高橋 秀人             |
| チーム医療                  | 保健・医療・福祉・介護の各職種の役割と連携、病診連携、病病連携、チームワーク、社会復帰、コンサルテーション      | 奥野 純子             |
| 生活習慣とリスク               | ヘルスプロモーション、行動変容、生活習慣病                                      | 中村 明澄             |
| 心理・社会的側面についての憂慮        | 患者・障害者のもつ心理・社会的問題、家族へのアプローチ                                | 中村 明澄             |
| 医療の質と安全の確保 (1)         | 病院機能評価、ISO、クリニカルインディケーター、患者満足度、クリニカルパス、セカンドオピニオン           | 大原 信              |
| 医療の質と安全の確保 (2)         | 医療安全、医療事故の防止、患者のリスクを低減させる戦略、医療危機管理、インシデント等報告制度、再発防止対策      | 本間 寛              |
| 医療の質と安全の確保 (3)         | 医薬品の安全性情報、医薬品副作用の早期発見、医薬品の副作用予測                            | 幸田 幸直             |
| 生命倫理                   | 遺伝カウンセリング、遺伝相談                                             | 有波 忠雄             |
| 医と法                    | 医師法、刑法、民法、医師・患者関係、インフォームドコンセント、注意義務、患者の基本的人権、損害賠償責任、個人情報保護 | 長瀬 啓介<br>(京都大学)   |
| 医療保険制度について             | 医療保険のしくみについて、保険診療の実際について                                   | 今高 國夫<br>(茨城県医師会) |

|          |                                                                       |                  |
|----------|-----------------------------------------------------------------------|------------------|
| 医療事故について | 医療事故、医療過誤、医事紛争、事故発生後の処理・届出、インフォームド・コンセント、情報開示、患者の安全確保、プロフェッション、ハインリッヒ | 石渡 勇<br>(茨城県医師会) |
| 臓器移植     | 器提供意思表示カード、脳死、臓器移植、異種移植、コーディネーター、臓器配分、愛                               | 大河内信弘            |
| 緩和医療 (1) | 緩和医療、QOL (Quality of life)                                            | 木澤 義之            |
| 緩和医療 (2) | 真実を伝える (Breaking Bad News)                                            | 木澤 義之            |

## 2. 臨床病理検討会（CPC（2））

### 2・1 一般学習目標（GIO）

臨床実習（P4）のGIOの11,12に同じ。

### 2・2 学習方法

- 1) 病院主体の activity の一つとして行われ、学生はこれに参加する。
- 2) したがって内容の level は、教員、レジデントを対象とした高いものとなる。
- 3) 臨床講義室 A において第 4、5、6 年次を対象として、水曜日の 6 時限に行われる。

- |                |                |                |
|----------------|----------------|----------------|
| ① 5 月 21 日（水）  | ② 6 月 25 日（水）  | ③ 9 月 24 日（水）  |
| ④ 10 月 22 日（水） | ⑤ 11 月 19 日（水） | ⑥ 12 月 17 日（水） |

### 2・3 学習内容

症例等については約 2 週間前に提示される。

### 2・4 評 価

総括試験、総合試験

# 卒 業 試 験

## 1. 卒業試験の目標

医学専門学群の卒業時点での到達目標は、基本的臨床能力及び基礎的研究能力をそなえた医師である。この目標に向かって学生は、人間個体・地域・社会あるいは人類全体の医学上の問題を正しくとらえ、自ら解決するために必要な基本的知識、技能及び態度・習慣を身につけることが要求されている。卒業試験はこの到達度を評価することを主目的とするものである。

## 2. 出題範囲

試験の範囲は医学専門学群の専門教育科目全体である。

出題は基礎医学（ヒトの構造と機能の基礎からヒトの正常と病態）、社会医学（ヒトの正常と病態から臨床実習）、臨床医学（ヒトの正常と病態から臨床実習）の全領域。

## 3. 試験方法

試験は総合試験と、総括講義の各コースに対応する総括試験の2つに大別される。

## 4. 試験日程

別に定める時間割表のとおりである。